

1. 第23回日本丸マスターズ

2010年10月3日(水)に東名御殿場カントリークラブにて、快晴、微風のコンディションのもと、開催。成績は以下の通り。

順位	氏名	OutInGRSHDCP	NET
優勝	佐藤 精吾	4443 87 12.0	75.0 BG
第2位	松山 英明	554710225.2	76.8
第3位	長崎 浩一	4642 88 10.8	77.2
第4位	鈴木 重雄	4443 87 9.6	77.4 BG
第5位	伊藤 隆輔	535310626.4	79.6
第6位	川島 通明	554910422.8	81.2 BB
第7位	小永井 晃	676913652.8	83.2

参加者は前回と同じく7名だったが、夜の部に前田、岸本、仲條の3名が駆けつけてくれ、グラントーブルでは10名での宴会となり、さらに部屋で盛り上がった。



表の通り、ベスグロは同点だったが、隠しホールの運にも恵まれ、佐藤さんが堂々2連覇を達成！おめでとうございます。

2. 恒例スキー部2011年合宿

毎冬ほぼ恒例のスキー部主催の青森・鱒ヶ沢スキー3日ツアーに参加した。今年は本間、佐藤、小永井(と御孫さん)各氏と其々の旧友3名、中大コーラス部より2名、そして山路、由本、長崎各氏の計13名の大所帯となった。



到着当日の1月27日は青森でもこのシーズン滅多にない(多分?)程の快晴で、早速身支度後ゲレンデ

からリフトへ。リフトの頂上からは日本海、津軽半島、陸奥湾、更には下北半島から北海道がクッキリ望めた事は感動で有った。



しかし、翌28日は前日の好天とは打って変わった悪天候、地吹雪状態で10m先は真っ白。各人1回から数回の滑走で止め、それぞれ入浴、睡眠、TV、マシントレーニング等で過ごしたが、この日午前到着の山路氏だけがマダマダと必至に滑って居ました。夜はこれまた恒例の五所川原市内の三味線酒場「だだん」にて津軽三味線の力強い演奏を楽しみました。



津軽三味線に挑戦!

どうぞ次回、時間を持って余している方、旅行の機会の少ない方、また冬スポーツの好きな方、奮って参加される事を望みます、、、!

(B1:伊藤さん)

3. 日本丸ボランティア感謝会

昨年度に引き続き、2月27日(日)日本丸ボランティア感謝会に出演し、懇親会にも参加しました。今回で3度目かな?

集合16:30で歌は17:00から。筆者は東京マラソン初参加でゴール以降の様子がわからず、電車まで足が重く、電車は超満員で、桜木町に着いたのが17:20。もう演奏も終わっている頃だったが、とにかく飲みに行くべしと、訓練センターへ。そしたら、演奏時間が繰り下げになっていて、ぎりぎりセーフ。Sailing Sailing、うみ、日本丸船歌、Red River Valleyをうたいました(順不同)。

昨年の感謝祭で、植木さんが日本丸合唱団を知り、入団されたので、今年も誰か入ってくれないかと、各団員、各テーブルで声を掛けてたが、成果はいかに?

いつもは演奏中の写真を撮って貰っていたが、今年はその手配を忘れたのが残念。(B2:山路)

[編集後記] マスターズの記事が遅れていました。じつは今回は、去年秋の第23回と、先週開催の第24回と、2回分の記事が出来たのですが、先週の分は、スタート前の集合写真と優勝者の喜びの顔が間に合わなかったこともあり、来週回しとします。なお、第23回大会の記録には、ニアピン賞が表記されていませんが、誰もワンオンしなかったわけではもちろん無く、情報収集の不十分さによるものです。ご容赦下さい。

さて、編集者は連休中に震災後の宮城を訪れ、仙南地域および石巻市での被災状況を見る機会を得ました。大勢の方が犠牲になった中で、日本製紙の工場では、地震後直ちに避難命令が出され、社員一同、会社裏の日和山公園に避難し、三百余人の従業員全員が無事だったとのこと。日和山を対岸から眺めると緑豊かで、桜の花が残り、素晴らしい山でした。沖に出た漁師たちは、大漁の時も不漁の時も、日和山を目印として石巻に帰港したのでしょうか。(B2:山路)